

あいりん地域まちづくり会議
公園検討会議議事のあらまし
(令和3年度)

- 公園検討会議開催要..... 1
- 萩之茶屋中公園（四角公園）WG（ワーキング）での
整備内容イメージ検討経過 2
- 萩之茶屋中公園計画平面図（施設） 5
- 萩之茶屋中公園計画平面図（植栽） 6

公園検討会議開催概要（令和3年度分）

〔第12回〕令和4年2月14日（書面開催）

- ・これまでの萩之茶屋中公園ワーキング（WG）において、議論しとりまとめた整備イメージの「たたき案」について、第4回WGでだされた意見をふまえて、更に現地測量を行ったうえで事務局で作成した「計画平面図（施設・植栽）」を委員に提示し、ご確認いただいた。
- ・今後も引き続き、整備内容や工事実施時期に加えて、整備後の公園利用や維持管理等についても、本検討会議でいねいに議論しながらすすめていく。

⇒だされた意見

- ・引き続き、公園横の公衆トイレ（環境局所管）をきれいにできるように考えてほしい。
- ・炊き出し等が可能な公園にしてほしい。
- ・野宿している人達を強制排除することのないよう強く要請します。

（参考）萩之茶屋中WG実施経過

第1回WG	R2.7.30
第2回WG	R2.9.10
第3回WG	R2.10.19
第4回WG	R3.6.29

萩之茶屋中公園（四角公園）WG（ワーキング）での整備内容イメージ検討経過

【第1回 萩之茶屋中公園WGまでの意見集約内容】

【A 班】

- ・炊き出しを退かすことは出来ないなので、子どもたちが遊べる空間をちゃんと確保する必要がある。
- ・子どもの空間として確保される場合、子どもたちの意見を聞き、実現にすることが重要。
- ・予算取り等で時間を要する場合は、わかさ保育園等に運営委託し、子どもの里とも協力しながら整備を行う。
- ・遊具以外にも、木の実や葉っぱ等自然のものを使った設えにする。
- ・炊き出しについては、公園内に収まるようにして、外に出ないようにすべき。
- ・いつまでもごみや瓦礫を残していると、そこが不法投棄の場となる懸念があることから、適正に片付ける必要がある。
- ・公園内に酔っ払いが居座られる可能性があるため、外囲いとしてフェンスを張るべき。

【B班】

- ・日常的に裸足で歩き回ることができるような自然を体験できるような空間が欲しい。
- ・芝生のマウンドとセットになった土管とかを設置したい。
- ・子どもの五感を発達させる場所として、乳幼児が柔らかい草の上を裸足で遊べる場所、水遊びや泥んこ遊びができる場所が欲しい。
- ・わかさ保育園側に出入り口を大きく開いて欲しい。
- ・西成警察がある東側にある巨木を大事に生かしたい。
- ・既存の遊具を無機的に設置するのではなく、自然遊びができるように起伏をつけたり、植物を活かしたデザインにして欲しい。
- ・真ん中のフェンスは必要ないのではないか。もし必要であれば樹木やベンチでいいと思う。
- ・子どもたちにとって、労働者が居てもらっても構わない。ただし、北側では子どもたちがのびのびと安全に遊べる状況を確保することが大事。

【C 班】

- ・真ん中のフェンスに関しては、要らないのではないかな。例えば、ボール遊びについては仏現寺公園でも可能なため、ここではフェンスをなくし、労働者と子どもが使い分けを工夫して全体を使えばよい。
- ・子どもたち、わかさ保育園の子たちが使いやすいように、ブランコや滑り台などを保育所に近いところで整備してほしい。
- ・周囲のフェンスを取り、花壇の設置や、木を植えることや、東側の警察の方の壁は、壁を使って屋根で雨をしのげるような場所など、公園の真ん中にいろいろ置くというよりは、むしろ周りにベンチを上手く配置して座れるようにしてはどうか。
- ・現在公園をよく利用している人はいろいろなことをしているので、将棋盤等を設置することで、集まりの場となり、全体の管理につながると考えられるため、そのような人たちに継続してご協力いただく。
- ・すぐにできることとして、萩の森にあった木を使って遊具を作り、子どもたちと一緒にメンテナンスをする。

【共通点】

- ・子どもの意見を踏まえ、整備を行う。
- ・自然のものを多く配置（花壇や樹木等）

【相違点】

- ・外周及び仕切りフェンス設置の有
- ・使い方について、子どもと労働者が時間帯によりシェアするか、予め空間を分けるか

【第2・3回 萩之茶屋中公園WGでさらに議論】

第1回WG R2.7.30
第2回WG R2.9.10
第3回WG R2.10.19
第4回WG R3.6.29

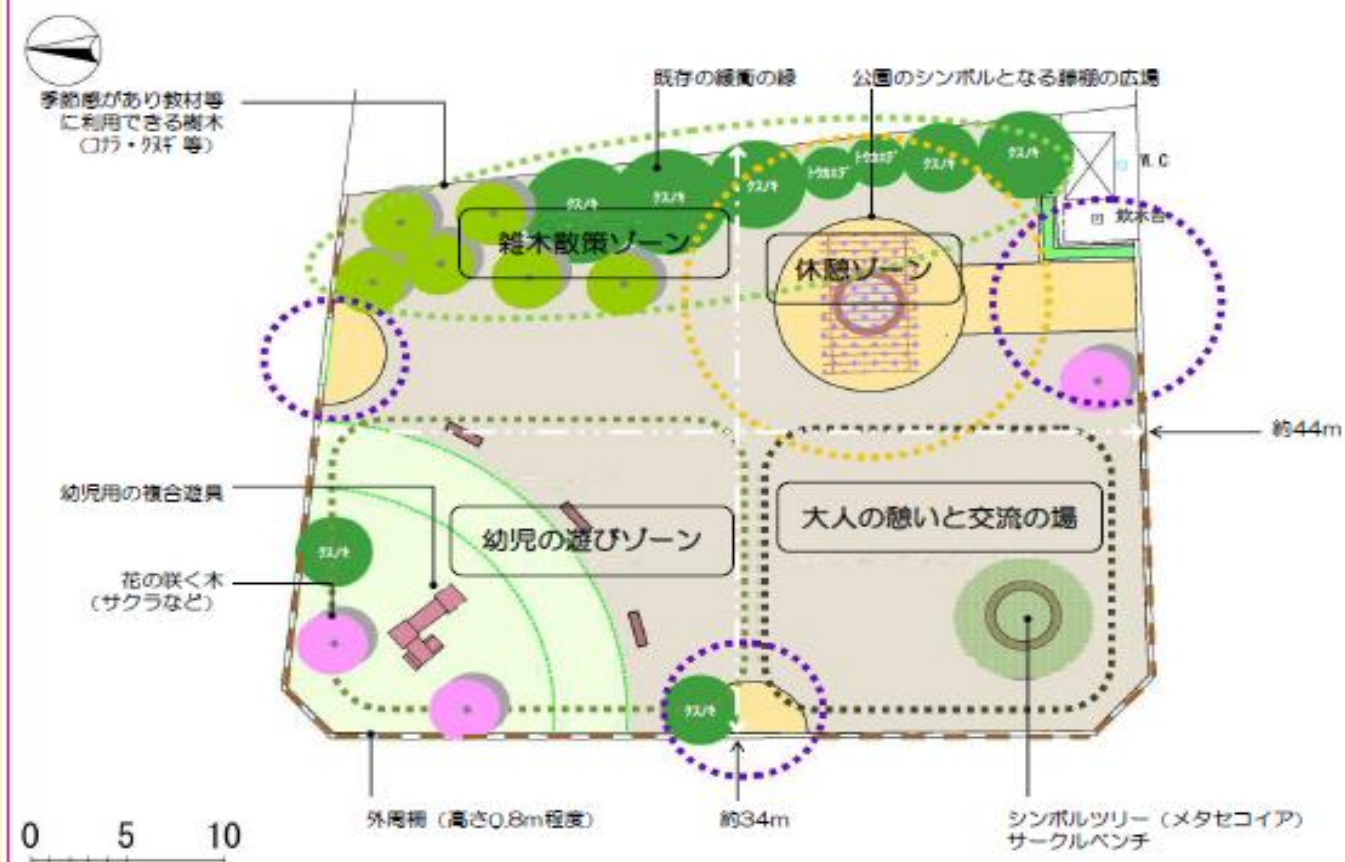
たたき案がまとまる

【第4回 W「たたき案1・2」について議論：別紙】

【第4回 WGで提示した たたき案】

概ね賛成の意見をいただいた案

たたき案 1



① 雑木散策ゾーン

- 主に児童を対象に季節感があり、教材にりようできる「どんぐり」等の実のなる樹木を植栽する。
- 既存緩衝緑地帯と一体化した散策エリアとして構成する。

② 休憩ゾーン

- 公園のシンボルとなっているフジ棚の休憩機能を維持し、老朽化した施設の改修を図る。

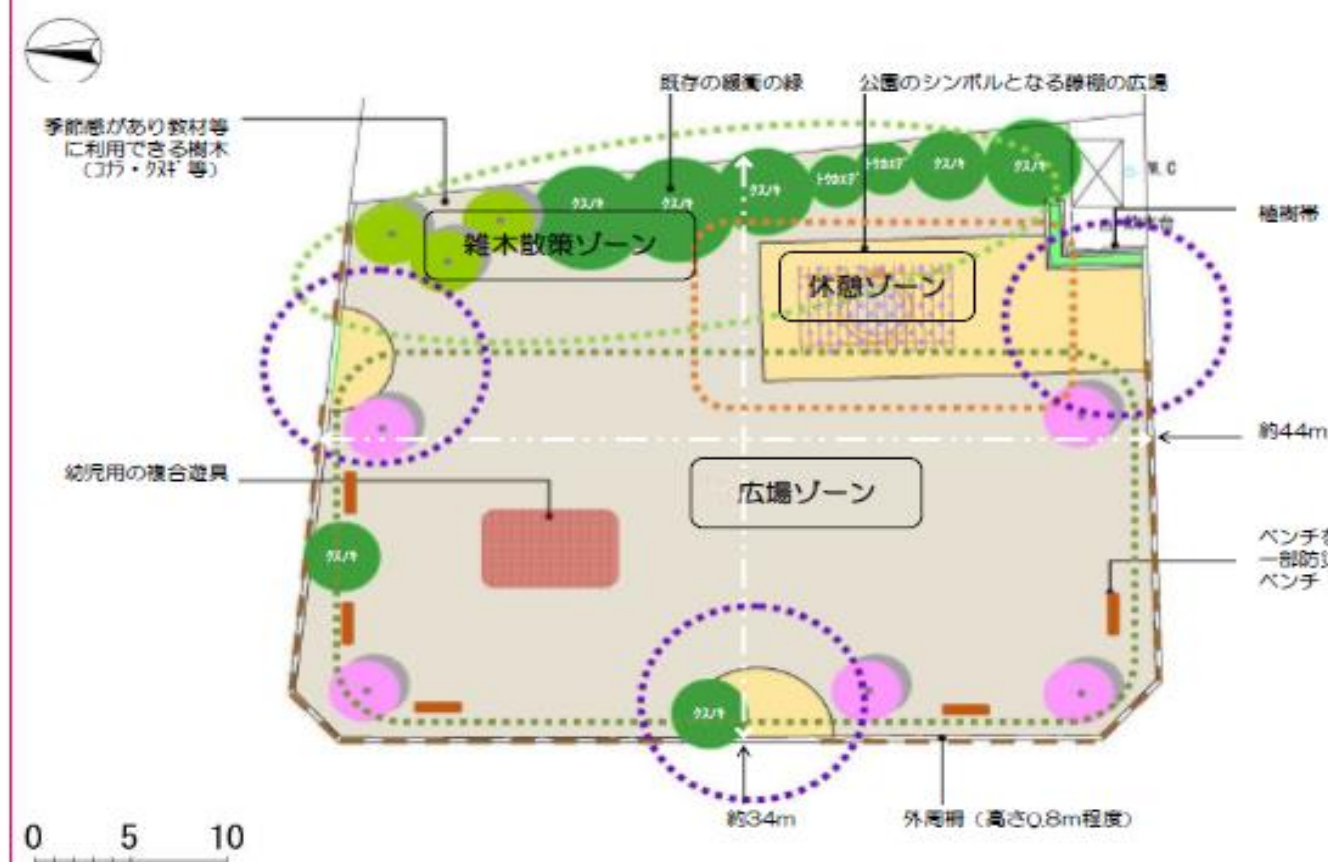
③ 幼児の遊びゾーン

- 幼児の運動能力に合った遊び場を周囲より小高い芝生の丘 (H=30cm 程度) に形成する。
- 同時に保護者とふれあうベンチを周囲に設け、幼児の遊び場を確保する。

④ 大人の憩いと交流のゾーン

- 40人程度の人がラジオ体操などに利用できる広がりとしシンボルツリーの下での地域住民の憩いと交流の場を創出する。
- シンボルツリーは、当地にないシンボリックな樹形のメタセコイア等。

たたき案 2



① 雑木散策ゾーン

- 基本的な考え方は、1案と同じとするが、広場エリアを広く確保するため雑木の植栽規模を縮小している。

② 休憩ゾーン

- 1案と異なり、広場整備を主眼として計画し、新規フジ棚や休憩エリアの配置形状を変えている。
- また、南側エントランスと休憩ゾーンを一体化し、災害時などの者車両乗り入れも考慮している。

③ 広場ゾーン

- 軽い運動などができる広場として使用しやすい形とし、ゲートボールができる広さを確保している。
- この広場は子どもたちが広々とした遊びの空間を確保することを主眼とし、少し大きめの複合遊具を配置する。
- また、高齢者などの健康維持、地域住民と憩いと交流の場を兼ねた見通しのよい一体的な空間を作ることができ防災訓練やイベント等を開くことができる。

【第4回 WGでの意見】

< 樹木 >

- ・コナラやクヌギなどどんぐり遊びができるものがある
- ・樹木を整理して明るいイメージに
- ・花の咲く樹木がある（桜など）
- ・トイレ入口前部分について、見えて入りづらいので、植栽などで目隠してほしい

< 遊具・その他施設ほか >

- ・遊具は近隣保育園で決めてもらった方がいいのでは。
- ・柵の設置は反対。⇒（市）高さ80センチ程度のもので、飛び出し防止として必要。
- ・座る場所（ベンチ）があるといい。ベンチにひじ掛けは要らない。

⇒（市）後日、保育園へカタログを持参し、地域の方と遊具の選定をしてもらう。現在調整中

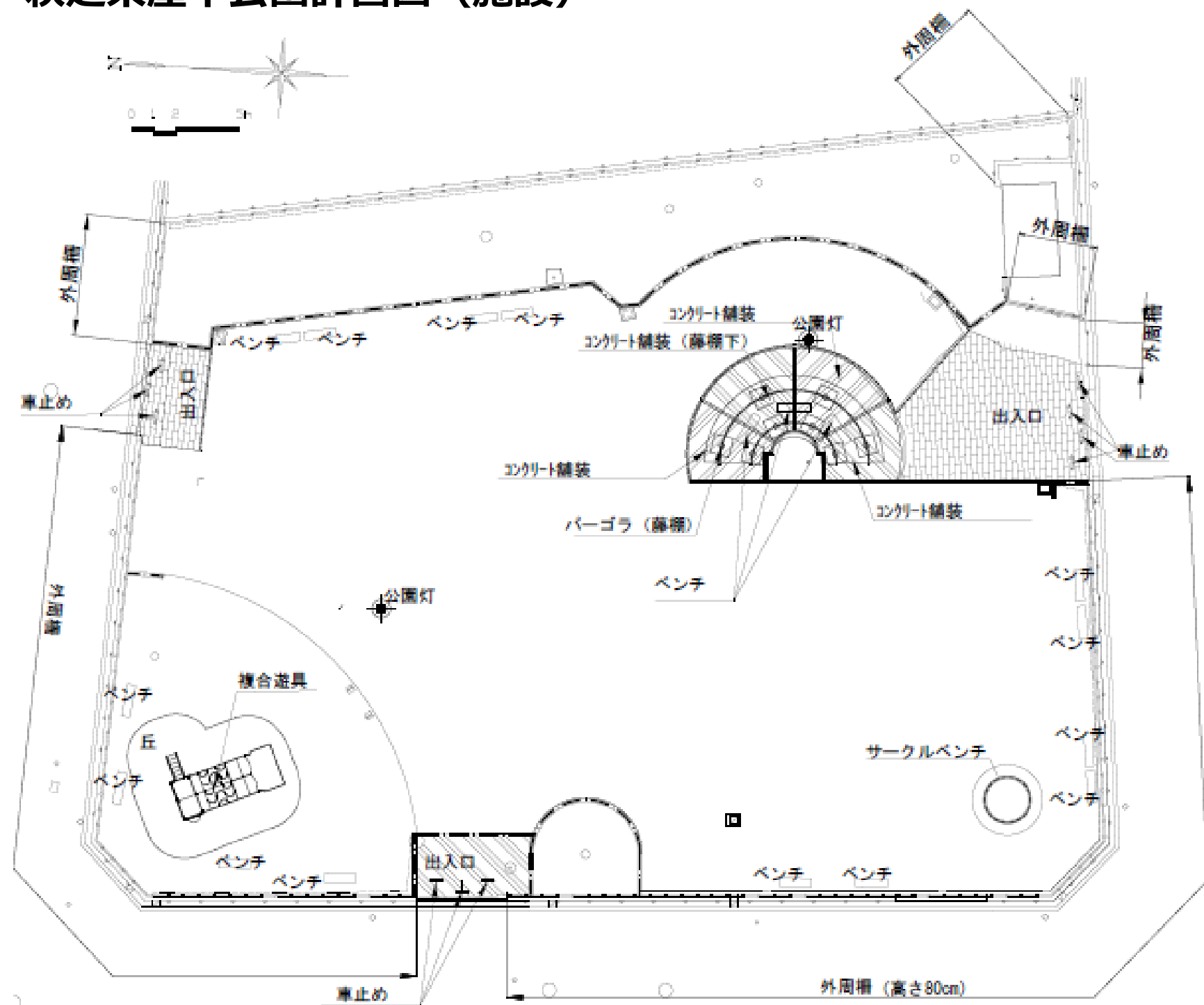
（参考）公衆トイレ（環境局所管）

⇒耐震上特に問題なく、改修の予定はないと聞いている。

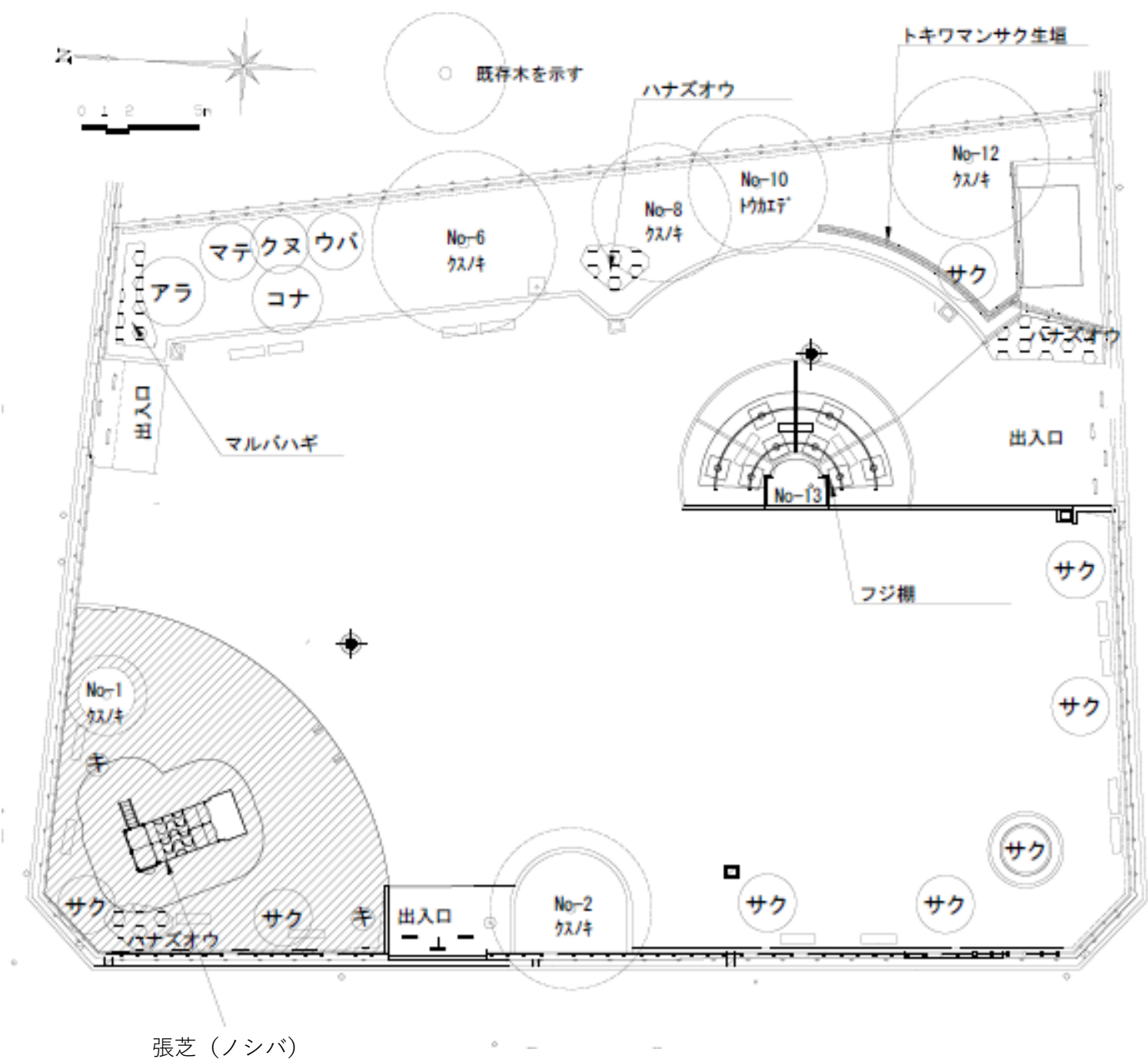
- ・おむつ替えできる仕様を望む
- ・公衆衛生であるとともに、人権にかかわる。
- ・公園の改修と同時にトイレの改修をおこなってほしい

⇒建設局と環境局とで打合せを実施、今後も継続していく予定。

萩之茶屋中公園計画図（施設）



萩之茶屋中公園計画図（植栽）



植栽 凡例				
工事区分		種 別	配 号	名 称
工種	種別			
植栽工	高木木植栽工			
	高木植栽	(7)	アラカシ	
		(8)	ウバメガシ	
		(9)	マデバシイ	
		(10)	コナラ	
		(11)	サトザクラ	
		(12)	トウカエデ	
	中低木植栽工			
	低木植栽	(13)	トキワマンサク (由) 生垣	
		(14)	ハナズオウ	
		(15)	マルバハギ	
		(16)	キンモクセイ	
	地盤植栽工			
	地盤植栽	(17)	張芝 (ノシバ)	
	樹木整姿工			
	高木整姿工			
基本剪定			フジ	